

# 学校における・環境教育ESDの展開例

『環境教育とESD』, 日本環境教育学会, 2014年

- 保育園

みんなで作るこども園: 認定子ども園の取り組み 豊かな自然

- 小学校

わたしたちのまち: 生きもののすみやすい町づくり ビオトープ制作

学校を地域のESDプラットフォームにする: 富良野小学校 田んぼの生き物

- 中学校

学校における社会科ESDの課題: 社会科公民での探求例 地域交通システム

- 高等学校

インドネシアと日本の高校生の学びあい: 総合学科高校 ゴミ問題への取組

- 大学

高等教育におけるトランスディシプリーな持続可能な開発のための教育への転換

: フューチャー・アース 知の統合を内在したESD

- 学校教育

学校教育におけるESDの枠組み: 学習評価 ESD評価枠組みの応用

- 地域の社会教育

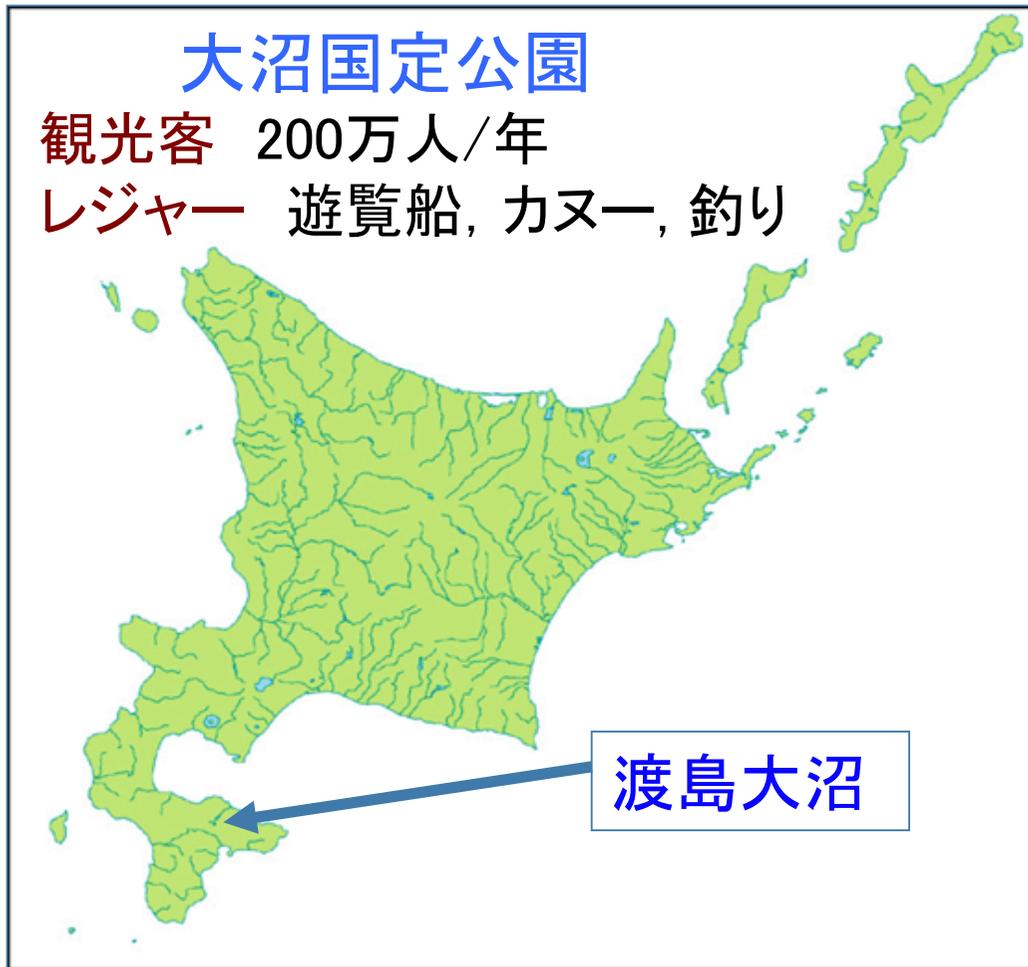
ESDの実践と地域社会の変容: 環境教育 地域の実践コミュニティー

# ESDによる地域環境の保全活動

## 2008～2016年 渡島大沼青年環境サミット 学校種や組織を超えたESD実践

- 大学(地元大学)  
2006年～ 地域大学:大沼の環境問題研究  
北海道教育大学・函館校:環境科学専攻, 釧路校:ESD推進センター
- 高校(地元の7校)  
2007年～ 高校環境教育研究会:環境教育の組織活動  
普通高校:教員・高校生が青年環境サミットに参加  
七飯高校, 函館水産高校:大沼の水質環境調査プロジェクト  
大野農業高校:酪農排水処理、エコフィード開発プロジェクト
- 自治体(七飯町, 北海道)  
2008年～ 北海道G8洞爺湖サミット:大沼環境対策事業  
北海道渡島総合振興局, 渡島教育局
- 地域コミュニティー(ラムサール協議会)  
2012年～ 国際ラムサール条約登録:ESDと環境改善活動  
大沼ラムサール協議会, 七飯大沼国際観光コンベンション協会

# 渡島大沼は北海道有数の畜産王国



人より牛の数が多いい町

漁業

水産(ワカサギ, じゅんさい)

農業

酪農(牛乳, アイスクリーム)

肥育畜産(大沼牛)

人: 1,424人 牛: 10,600頭

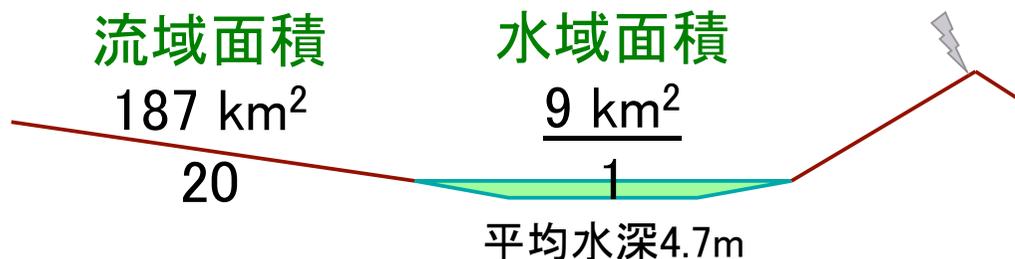
60kg 700kg

農地面積 2,600ha

家畜飼養密度 4.08 頭/ha

EU環境基準の2倍超過

バイオマス 人:牛 = 1:87



浅くて広い流域をもつ

流域の土地利用に敏感な湖

# ラムサール条約登録湿地：渡島大沼



中栄養湖の典型的な景観生態系

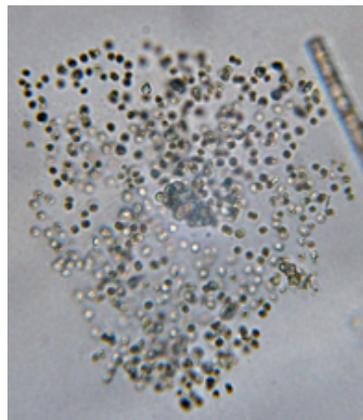
じゅんさい沼

# 大沼湖水の富栄養化問題

渡島大沼 2015年9月3日

全国の富栄養化湖沼  
都市下水による水質汚濁

印旛沼  
手賀沼  
霞ヶ浦  
諏訪湖  
琵琶湖  
など



ミクロキスチス属 アナベナ属  
ラン藻毒を発生



## 富栄養化問題

- 漁業の不振
- 景観の悪化
- 悪臭の発生
- 釣魚の減少